中学校　佐倉学と関連の深い主な学習

教　科	分　野	編・章・節	学　習　内　容
社会科	地　理	第３編・４章 地域の在り方	１　身近な地域の課題を見つける ２　課題を調査する ３　要因を考察する ４　解決策を構想する ５　地域の将来像を提案する
	歴　史	第１章・２節 身近な地域の歴史	１　テーマを決めて調査・考察しよう ２　まとめを発表しよう
		第２章・２節 ～第７章・３節 日本の歴史分野	＊佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」では、原始から第二次世界大戦後まで、時代ごとに当時の佐倉の様子や活躍した人物にふれています。
	公　民	第１章・２節 私たちの生活と文化	１　私たちの生活と文化の役割 ・日常生活の中で様々な文化が見られることに気づき、関心を持つ。
		第３章・３節 地方自治と私たち	１　私たちの生活と地方自治 ２　地方自治の仕組み ３　地方公共団体の課題 ４　住民参加の拡大と私たち
		第５章・３節 これからの地球社会と日本	２　より良い地域社会を目指して ・地域社会の多様性 ・多様性の尊重 ・持続可能な社会のために

○「特別の教科　道徳」における佐倉学
教材名「印旛沼の環境を考えよう」　（自然愛護）
教材名「町への想い」（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）など

○「総合的な学習の時間」における佐倉学
各中学校において、「印旛沼の竜神伝説」などの、特色ある学習が行われています

学びの紹介　「印旛沼　竜神伝説」

干ばつで困っている農民のため、竜神様は雨を降らせました。しかしそのことで、大竜神の怒りをかい、体を３つに引き裂かれ地上に落とされました。龍角寺（栄町）竜腹寺（印西市）龍尾寺（匝瑳市）で祀られています。佐倉市では、この竜神伝説にちなみ、オランダ風車の隣の橋は、飯野竜神橋と名付けられています。